

奈井江町の年表

年号	西暦	月	できごと
明治2	【1869】	10月	空知郡全域は伊達邦直 氏(英橋)に統治方委任
明治3	【1870】	5月	伊達邦直 氏が分割土地踏査(ナエイからナイに至る)のため開拓使権少主典の田中義信 氏等一行17名と共に石狩川を遡行、奈井江に上陸踏査、ナエイ川及びナエ川の両川口に標杭を立てる
明治7	【1874】	7月	ライマン氏、ナイエ川を遡行し、炭田調査を行う
明治22	【1889】	8月	奈井江市街に官設駅通を設置。第4美英舎と名づけられた
明治23	【1890】	5月	滝川村の一部を分離して奈井江村を設置
明治24	【1891】	7月	岩見沢、歌志内間の鉄道開通により奈井江、砂川の両停車場が設置
明治25	【1892】	11月	奈井江神社創建、埼玉県人の清水宗徳 氏の自己所有地に、一祠造堂郷土の鎮守神を祀る
明治26	【1893】	3月	本願寺高島農場説教所を設置し、児童に寺子屋式教育を行う
		3月	広島県人の和田郁次郎 氏は約248ha、岩手県人の伊藤広幾 氏と佐藤庄五郎 氏は約188haの地積の貸付を受け、多数の耕作者を入れて開墾に従事する
		4月	神奈川県人の高島嘉右工門 氏は、沼貝・奈井江の両村にまたがり約826ha、埼玉県人の清水宗徳 氏は約248ha、それぞれ土地の貸下げ許可を受け移民を募集
		5月	奈井江市街地に児童教育所を設置
明治27	【1894】	5月	屯田工兵30戸が沼貝村茶志内(現在奈井江茶志内)に入地
		11月	砂川信光寺が奈井江説教所設置し、児童教育所を再開。寺子屋教育を行う(翌28年童蒙倶楽部と改称)
明治28	【1895】	1月	奈井江川水田用水引水の免許を持つ清水一三 氏外1名が水稻栽培を始める
		6月	奈井江村に戸長役場を設置
		9月	字奈井江を奈井江村より分離し、独立を住民総会にて決議する
		9月	童蒙倶楽部を私立奈井江小学校と改称
		12月	奈井江炭鉱を松永慶助 氏外1名発見、田中平八郎 氏が試掘権を得る
			京極高德 氏68万余坪(茶志内屯田兵用地)が地積の貸付を請けて開墾に従事する
明治29	【1896】	11月	木村平吉 氏が奈井江炭鉱採炭に着手
			奈井江尋常小学校が公立認可される
明治30	【1897】		春以来気温が低く、夏作物のほかは凶作
明治31	【1898】	1月	奈井江水利組合が設立(奈井江川)
		4月	南9号簡易教育所が設置(白山小の前身)
		9月	連日の豪雨で石狩川が氾濫し、大洪水となる
明治32	【1899】	1月	奈井江郵便局が開設
		5月	奈井江神社が創建
		6月	奈井江市街大火、市街は殆ど全滅
明治33	【1900】	4月	奈井江水利組合を創設(奈井江川)
			奈井江小学校校舎が建築移転
			高島簡易教育所を公認設置、京極教育所を設置
明治35	【1902】	3月	高島教育所が焼失
明治36	【1903】	8月	奈井江村を砂川村と改称
		9月	私設消防組を組織
		11月	奈井江産業組合を設立
明治37	【1904】	8月	大雨で大洪水となり被害甚大
明治39	【1906】	4月	奈井江小学校に3カ年の高等科を置き、奈井江尋常高等小学校と改称
明治40	【1907】	4月	奈井江小学校に4カ年の高等科を置く
明治41	【1908】	4月	公立高島簡易教育所を公立高島教育所と改称
		8月	水害夜盗虫大発生により凶作
明治42	【1909】	6月	空知川灌漑期成会が成立
			奈井江小学校南9号分教場と変更
		8月	奈井江澱粉同業組合が創設
明治43	【1910】	2月	奈井江炭鉱軌道で2哩66(約4.8km)完成
明治45	【1912】	3月	奈井江火防組合が創設
大正2	【1913】		春以来 寒冷が続ぎ、未曾有の大凶作となる
大正4	【1915】	10月	私設消防組合公立として認可
大正5	【1916】	5月	奈井江市街に電灯が点火
大正6	【1917】	4月	高島教育所、公立高島小学校となる
		7月	奈井江市街に水道組合を設立
			宝田用水組合を設立
大正8	【1919】	2月	奈井江全村にインフルエンザ患者続出、死者多数



「伊達邦直公上陸の地」石碑 (1869年10月)



えきてい 駅通 (1889年8月)



奈井江尋常小学校 (1896年11月)



奈井江郵便局開設 (1899年1月)



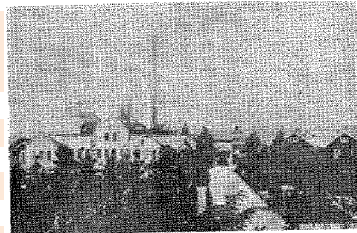
私設消防組 (1903年9月)

奈井江町の年表

年号	西暦	月	できごと
大正9	【1920】	5月	東洋製麻会社工場 南15号西2線に設立したが、 ^{いりぼく} 幾何もなく閉鎖
大正10	【1921】	5月	高島農場内約155haに造田のため、石狩川古川に75馬力の電動機揚水を設備
		8月	奈井江郵便局が電話事務を開始 奈井江魚菜市場が創立
大正11	【1922】	8月	明治37年に次ぐ大洪水
大正12	【1923】	2月	奈井江袋地に奈井江土功組合が結成
		4月	空知 ^{きびぼうき} 黍加工組合が創立
大正13	【1924】	4月	森永練乳空知工場が起工（事業開始翌14年2月）
		12月	奈井江、砂川間の鉄道複線工事が完成
大正15	【1926】	8月	奈井江に支店を有する糸屋銀行が閉鎖
（昭和元年）		9月	円通寺が全焼 連日の降雨で大凶作
昭和2	【1927】	3月	北海道拓殖銀行滝川支店 奈井江出張所が開店
昭和4	【1929】	5月	北海道土功組合 灌漑工事が完成し、通水
昭和5	【1930】	3月	奈井江商工会が設立
昭和7	【1932】		8月以降、連日の豪雨。前年にまさる大凶作
昭和8	【1933】	1月	奈井江、砂川、上砂川で砂川商業組合を設立
昭和10	【1935】	4月	南9号分教場が白山小学校として独立認可
		7月	字名地番の改正。奈井江町、奈井江、東奈井江の三字ごとの地番となった
		11月	奈井江産業組合が奈井江協済病院を設立
昭和11	【1936】	10月	奈井江産業組合が国民健康保険類似事業を開始
昭和12	【1937】	4月	高島小学校が焼失、12月に新校舎が落成
昭和13	【1938】	5月	住友鉱業株式会社が採炭に着手
昭和14	【1939】	1月	奈井江小学校住友分教場と東奈井江分教場が設置 法に基づき国民健康保険組合を奈井江産業組合にて設立（本道第1号）
		4月	奈井江商業組合が砂川より分離して設立
昭和16	【1941】	4月	住友小学校独立、小学校、国民学校となる
昭和17	【1942】	7月	東奈井江小学校が独立
昭和19	【1944】	4月	砂川町より分村して奈井江村が独立 第1回村会議員選挙を執行（定員18名）
		5月	初代村長に北勝太郎氏が当選就任
		7月	北海道興農公社 奈井江土管工場が操業 役場吏員が春・秋に毎日交代で援農に出役
昭和20	【1945】	8月	敗戦の報。村民が一時、虚脱状態となる
昭和21	【1946】	4月	村長に北勝太郎氏が当選就任
		9月	美唄町茶志内地域の一部を分離、奈井江村に合併
		12月	農地委員選挙を執行。各層より10名当選
昭和22	【1947】	4月	新町村制により村会議員選挙を執行（定員26名） 村長選挙を執行。梅津広氏が無投票当選就任
		7月	奈井江警防団が消防団に改組
		8月	マッカーサー指令により町内部落会を駐在区制に改める
		10月	国勢調査を実施（人口11,624人） 隔離病舎が完成（旧役場庁舎）
		11月	奈井江商工会が創設 新奈井江鉱が開坑
昭和23	【1948】	4月	奈井江村農業協同組合が創立
		12月	南9号線の産業道路、三井白山鉄道の敷設に囚人（道開発名誉作業班）250名が就労
昭和24	【1949】	4月	国民健康保険事業が農協より移管、町営として発足する
		6月	奈井江中学校、第一次校舎が完成
		8月	警察庁舎が完成
昭和25	【1950】	2月	衆議院議員の北二郎氏が死去。村民葬を執行
		9月	町制執行。記念式典を挙げる
		11月	三井奈井江小学校 校舎が完成
昭和26	【1951】	1月	第1回成人祭を開催
		4月	浦臼村との境界変更が実現 町長に梅津広氏が無投票当選
昭和27	【1952】	1月	上砂川町の一部が奈井江町に編入（境界変更）
		4月	奈井江高等学校が独立



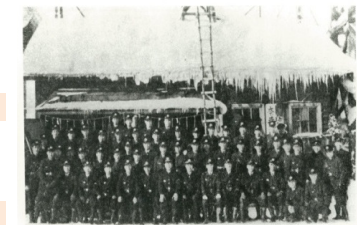
奈井江魚菜市場創立（1921年8月）



森永練乳空知工場（1924年4月）



住友奈井江炭鉱全景（1938年5月）



消防団に改組（1947年7月）



町制施行記念式典（1950年9月）

奈井江町の年表

年号	西暦	月	できごと
昭和27	【1952】	10月	町の教育委員会が発足 奈井江森林組合が設立
昭和28	【1953】	4月 6月 11月	駐在区制を町内、集落会制に改める 三井白山地区で集団赤痢が発生 石狩川、奈井江大橋の起工式を挙行
昭和29	【1954】	2月 5月 9月 10月 11月 12月	国有林約448haを買い受ける 三井奈井江中学校の校舎が完成 15号台風が来襲し、甚大な被害をもたらす（被害額およそ4億5,000万円） 奈井江高等学校の第一期独立校舎が落成 奈井江～上砂川間の環状道路が完成（延長5,186m） 町章制定（一般公募） 分村10周年記念式典を挙行
昭和30	【1955】	4月 9月 11月	町長選挙を執行。杉本正平氏が当選就任 住友線を中央バスが運行開始 奈井江、浦臼線を国鉄バスが運行開始 上水道工事が完成
昭和31	【1956】	4月 12月	奈井江町、地方財政再建法による指定を受ける（再建債2,450万円借入れ） 冷害凶作被害が2億3千万円。水田4分作程度
昭和32	【1957】	3月 11月 12月	9号線道路が道道に昇格 三井奥奈井江坑口の起工式 国道の市街地舗装が完成 商業協同組合を設立
昭和33	【1958】	8月 10月 11月	市街に街路灯を設置 国民健康保険事業が全道唯一の創始継続20年として厚生大臣表彰を受ける 奥町有林奈井江林道美唄市と協同施行（3年連続）
昭和34	【1959】	4月 6月 10月 11月 12月	町長選挙を執行。杉本正平氏が当選就任（2期目） 奈井江高等学校が道立移管（6月記念式挙行） 消防会館が落成 奈井江大橋が完成、渡橋式と祝賀会を浦臼町と共催で行う 名誉町民に関する条例制定 有線放送施設を農村全戸に設置（635戸） 宇奈井江地区、石狩川治水第1期築堤工事が完成
昭和35	【1960】	2月 3月 10月	北勝太郎氏を名誉町民に推戴 三井奈井江9号狐沢より15号晩成に通じる大たて入坑道が貫通 青年研修所が落成 再建債償還期間8年を短縮繰上げし、償還を終える
昭和36	【1961】	7月 11月	集中豪雨により、石狩川及び各支川が氾濫し甚大な被害をもたらす。奈井江川木橋が全部流失。農作物や炭砒等の被害は約3億円に達した 統合白山小学校第1年次校舎が完成
昭和37	【1962】	5月 8月 9月 11月	奈井江農業協同組合 経営の協済病院を町立に移管、町立奈井江国民健康保険病院として発足 9号台風の豪雨により石狩川や他の各支川が氾濫。農作物の被害総額は約1億7千万円に及ぶ 北海道電力(株)大規模の火力発電所を本町設置に決定（民地、官地あわせて約143haの土地買収） 水道災害復旧工事及び浄水設備工事等が完成
昭和38	【1963】	2月 4月 8月 11月 12月	名誉町民 北勝太郎氏が死去。町葬を執行 町長・町議選挙を執行。杉本正平氏が当選就任（無投票3期目） 町道14号線の住友入口舗装工事（初年次）が完成 道道奈井江、浦臼線の道路舗装を3ヵ年計画にて着工 町立病院老朽により2ヵ年計画で建設工事を着工 住友奈井江鉱が閉山、新会社大日興産(株)が発足 白山小学校の第三次工事 校舎及び屋体が完成 農業構造改善事業計画の予備地域に指定される
昭和39	【1964】	9月 10月 12月	奈井江町の開基75年、開町20周年記念式典を挙行 奈井江音頭、小唄を公募発表。水道記念碑を建立 町立病院が新築移転（総工事費約1億2,600万円） 春以来、天候不順に加え、早霜被害により減収、冷害対策本部を設置
昭和40	【1965】	10月	国勢調査を実施（人口14,583人） 京極地区の農業構造改善事業に着工 農村地域に水道配水管布設（茶志内、瑞穂、大和、白山）



町章(1954年11月)



旧奈井江大橋



市街地の様子(1962年頃)



町立奈井江国民健康保険病院
(1964年10月)



開町20周年記念(1964年9月)

奈井江町の年表

年号	西暦	月	できごと
昭和40	【1965】	12月	北海道地方産業開発の青年隊隊舎を向ヶ丘地区に建設。苫小牧より移転が完了
昭和41	【1966】	3月	町議会議員定数の減員を決議（26名を22名に）
		4月	新行政区を設定、町内、部落を改め区制とする
		7月	北電火力発電所、起工式を挙行
		8月	20日未明より集中豪雨、奈井江川の濁流で、木造橋が全部流失 石炭産業推進について全町民の署名運動を展開。約5,000名が署名。陳情書を通産大臣外、各関係機関に提出し縮小阻止に努める
		9月	三井鉱が埋蔵炭量減少を理由に奈井江坑を終掘し、鉱員を上砂川に配置転換することを発表
昭和42	【1967】	4月	町長選挙を執行。萬敏夫氏が無投票にて初当選 学校給食センター 全町小・中学校に配給開始
		6月	杉本正平氏を名誉町民に推戴
		8月	産炭地工場適地視察団が来町 奈井江火力発電所が第2期工事を着工（出力175,000kw）
		9月	三井奈井江鉱が閉山、奈井江町の人口 約5,000人減
		12月	北電火力発電所の第1期工事が完成、12月14日火入れ式を行う
昭和43	【1968】	4月	広域行政推進のため、一部事務組合を設立（奈井江・浦臼町学校給食組合、中空知交通災害共済組合、砂川地区隔離病舎組合、空知教育研修センター組合）
		10月	奈井江駅構内において急行第818列車脱線、負傷者多数
		12月	奈井江産米出荷181,279俵（開町以来最高） 釜屋電機が北海道奈井江工場建設に着手（産炭地企業誘致第1号）
昭和44	【1969】	4月	新奈井江炭鉱が閉山
		5月	電話が自動化になる
		8月	工場適地指定（宮村・大日地区）
		9月	産炭地域振興事業団による工業団地造成が認可 道営灌排事業に着工（4地区 約873ha） 広域市町村圏 自治省より指定（中空知5市町）
		10月	農業基盤総合整備パイロット事業美唄地区指定を受ける 奈井江火力発電所2号機火入れ式
		11月	釜屋電機(株)北海道奈井江工場が操業開始
昭和45	【1970】	1月	米の生産調整始まる（休耕率は全耕地の39.5%）
		3月	農村集団電話が開通542戸（有線電話廃止）
		5月	奈井江工業団地の起工式を挙行
		7月	奈井江「町民の誓い」制定、町木を「ナナカマド」に選定
		8月	農業振興法による地域の指定を受ける
		9月	開基80年記念式を挙行
		10月	国勢調査を実施（人口10,915人）
昭和46	【1971】	2月	大日興産(株)の奈井江鉱山が閉山
		3月	振興計画を策定（第1期）
		4月	町長、議会議員選挙を執行。萬敏夫氏が再選（2期目）
		7月	高齢者医療費支給条例を制定
		8月	拠出制国民年金支給を開始
		10月	役場庁舎が完成（11月6日落成式挙行）
		11月	農業振興地域計画を策定
昭和47	【1972】	1月	札幌オリンピック聖火が通過
		4月	砂川地区広域消防組合が設立し、奈井江消防団、奈井江支署が発足
		9月	統合中学校校舎が完成
		10月	奈井江土地開発公社が設立
		11月	石狩炭鉱の炭じん爆発により31名死亡（12月に殉職者合同葬が行われる）
昭和48	【1973】	1月	石狩炭鉱が閉山
		6月	滝口炭鉱が閉山（町の炭鉱がなくなる）
		8月	空知中核工業団地の用地買収が始まる
昭和49	【1974】	1月	町立中央保育所が開所
		9月	開町30周年記念式典を挙行 住友電工が北海道住電精密(株)工場を本町に進出。
		11月	奈井江小学校統合校舎が完成
		12月	町花に「つつじ」を決定
昭和50	【1975】	4月	町長、議会議員選挙を執行。萬敏夫氏が再選（3期目） 奈井江町史の発行（印刷部数900部）
		6月	都市計画区域の指定を受ける



学校給食センター(1967年4月)



役場庁舎落成式（1971年11月）



砂川地区広域消防組合
(1972年4月)



石狩炭鉱閉山（1973年1月）



滝口炭鉱閉山（1973年6月）

奈井江町の年表

年号	西暦	月	できごと
昭和50	【1975】	7月	15号の踏切立体交差工事に着工（昭和52年完成） 奈井江駅舎の新築工事に着工（完成12月）
		8月	6号台風により石狩川ほか各支川氾濫、降雨量2日連続181.6ミリ、被害額8億4,200万円
		9月	奈井江消防 創立60周年記念式典を挙行
		10月	国勢調査を実施（人口8,891人）
		11月	大日浄水場が完成
昭和51	【1976】	4月	過疎地域対策緊急措置法の指定を受け、計画を策定
		9月	石狩川流域の下水道幹線工事に着工
		11月	江南小学校校舎が完成
昭和52	【1977】	2月	都市計画法に基づく用途地域、準防火地域、特別工業地区を指定
		3月	北海道産業開発青年隊が閉鎖 新奈井江振興計画（51年～60年度）を策定
		8月	空知中核工業団地での本格的な造成開始
		11月	農村集団電話を廃止し、一般電話になる
		12月	公共下水道工事に着工
昭和53	【1978】	3月	町議会議員定数の減員を決議（22名を20名に）
		4月	国土調査法に基づく地籍調査事業に着手
昭和54	【1979】	8月	石狩川流域の下水道奈井江浄化センター新築工事に着工
		4月	町長、議会議員選挙を執行。萬敏夫氏が再選（4期目）
		8月	北海道住電精密（株）が起工（操業開始55年11月）
昭和55	【1980】	9月	公民館が完成
		5月	奈井江町、農業者年金協議会が結成
		10月	国勢調査を実施（人口8,648人）
昭和56	【1981】	11月	北海道住電精密（株）が操業開始 開基90周年記念式典、社会教育センター落成記念式典を挙行、 新奈井江首頭を制定、奈井江慕情レコード化
		1月	郷土館が開館
		6月	図書館が開館
		8月	集中豪雨災害が発生。総雨量400.4ミリ、奈井江川の堤防が決壊し、 瑞穂・大和地区で被害大。被害額およそ73億6,000万円
昭和57	【1982】	6月	町民広場公園が完成
		7月	奈井江町、成羽町と友好都市を提携、交歓調印式を挙行
		12月	保健センターが完成
昭和58	【1983】	4月	町長、議会議員選挙を執行。森岡孝氏が当選就任
		8月	町民体育館が完成
昭和59	【1984】	2月	空知中核工業団地第2工区を分譲開始
		3月	萬敏夫氏、名誉町民に推戴 国鉄合理化計画により奈井江駅の機能縮小
		5月	空知中核工業団地 分譲を開始
		6月	北海道縦貫自動車道、奈井江工事区に工事着手
		8月	体育館、格技場が完成
昭和60	【1985】	9月	開町40周年記念式典を挙行
		3月	陶芸センター完成「初窯開き」
		8月	第1回奈井江産業まつりを開催（町、農協、商工会）
		10月	国勢調査を実施（人口8,634人）
		11月	奈井江町スポーツ広場（体育館横）にテニスコート3面完成
昭和61	【1986】	12月	空知中核工業団地に視察展望台が完成
		12月	奈井江浦臼町学校給食組合センター施設の設備更新が完成
		3月	石狩川流域下水道 通水式
		4月	国営空知中央地区、土地改良事業北海ダム部会が発足 北海道住電精密（株）原料粉末工場が完成
		5月	奈井江町第3期振興計画策定（基本構想61～70年度）
昭和62	【1987】	8月	北海ダムが物件補償買収を開始
		12月	町長選挙を執行。北良治氏が当選就任（1期目） 雇用促進住宅が完成、入居開始（南町2棟80戸）
		4月	議会議員選挙を執行
昭和63	【1988】	7月	農業委員会委員選挙を執行
		2月	白山小学校の閉校式を挙行
		3月	奈井江町老人保健施設「健寿苑」建設に着手（自治体第1号）
		6月	北海道電機（株）が操業開始
		8月	大雨による被害発生（総降雨量204ミリ、被害総額1億9,134万円）



落成記念（1980年11月）



集中豪雨災害(1981年8月)



成羽町友好都市（1982年7月）



空知中核工業団地分譲
(1984年2月)



第1回奈井江産業まつり
(1985年8月)



石狩川流域下水道通水式
(1986年3月)

奈井江町の年表

年号	西暦	月	できごと
昭和63	【1988】	9月	老人保健施設「健寿苑」が完成。10月にオープン
昭和64	【1989】	3月	ないえ温泉の全施設を町が買収 奈井江町、地域農業振興計画を策定（平成元年度～5年度） スプリングパークないえの構想策定 町議会議員定数の減員を決議（20名を18名に）
		5月	ないえふるさと創世事業（1億円の活用）策定計画推進協議会より答申 寿運動公園がオープン
		7月	住友石炭鉱業(株)が住友用地ゴルフ場開発の協議書を提出
		10月	百年橋完成（供用開始平成2年）
		11月	奈井江町の面積が88.05km ² となる（前86.55km ² ）
平成2	【1990】	1月	温泉ホテルの名称「ホテル北乃湯」に決定（公募）
		4月	町民保養センター・温泉ホテル・農業構造改善センター記念式典と祝賀会を挙げる（4月12日オープン）
		6月	開基100年記念事業を実施（里山にクリの木100本植樹、記念田、町民体育祭、全道展と文連の合同展、道新クラシックコンサートほか）
		7月	
		9月	開基100年記念式典及び記念モニュメント除幕式を挙げる、奈井江町百年史刊行（上巻、通史編1,200部印刷）
		10月	国勢調査を実施（人口8,075人）
		12月	町長選挙を執行。北良治氏が当選就任（無投票2期目）
平成3	【1991】	4月	議会議員選挙を執行
		6月	通産省から素形材タウン構想モデル地区として空知中核工業団地（奈井江側）指定
平成4	【1992】	4月	知事を迎えて市町村サミットを開催
		6月	住友石炭鉱業(株)社有地の北海道奈井江カントリークラブゴルフ場がオープン
		8月	町立病院開院30周年史を発刊
		11月	ないえ温泉屋内体育センターが完成
平成5	【1993】	9月	北海道防災訓練を空知中核工業団地で開催
		10月	関木工業株式会社、奈井江工場が操業を開始 向ヶ丘地区に共同浴場新築
		11月	文化ホール落成記念式典、ミニコンサートによりオープン 春以来の低温、日照不足の異常気象により、未曾有の冷害を受ける（作況指数全国74、北海道40）
平成6	【1994】	6月	国際交流団結団式（フィンランドの2都市を視察）
		7月	NHKのど自慢、一般公開放送（於体育館） 開町50年記念芝桜まつり、町内9社1団体共催 町立国保病院、診療棟部門オープン記念式典 奈井江商店街で最新式カードシステム導入
		8月	開町50年記念事業を実施（記念式典、神楽フェスティバル、ライマン橋完成記念渡り初め行事、泉箱の設置、記念植樹（奈井江川環境整備）、記念コンサート、開町50史「時を明日に」刊行（印刷部数1,000部）外）
		11月	
		12月	町長選挙を執行。北良治氏が当選就任（無投票3期目）
平成7	【1995】	2月	町立国保病院、全面改築工事が完成
		4月	フィンランドハウスヤルビ町と友好都市提携調印 議会議員選挙を執行
		5月	北海道電機(株)の増築工事が完成
		6月	開放型病診連携事業を開始
		9月	空知素形材タウン着工記念式典
		10月	国勢調査を実施（人口7,667人）
		11月	道の駅「ハウスヤルビ奈井江」が完成
平成8	【1996】	5月	保健・医療・福祉施設の病診連携開放型共同利用に関する診療協定書調印
		7月	老人総合福祉施設「やすらぎの家」完成。特別養護老人ホーム、介護支援センター、デイサービスセンターの業務開始 個別排水処理施設設置工事（第1工区）に着手
		10月	訪問看護ステーションが開設
			奈井江小学校100周年記念式典
		12月	流雪溝・融雪溝が通水式



開基100年記念 記念田（1990年6月）



ないえ温泉外観（1992年11月）



奈井江町開町50周年式典
（1994年8月）



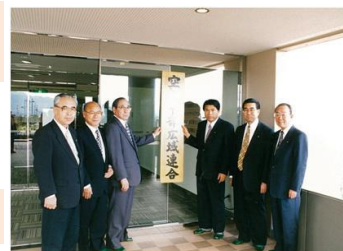
奈井江町立国保病院（1995年2月）



やすらぎの家（1996年7月）

奈井江町の年表

年号	西暦	月	できごと
平成9	【1997】	9月	第4号名誉町民に北修二氏が推戴 ないえ温泉露天風呂オープン
		10月	空知素形材タウン分譲開始
平成10	【1998】	2月	奈井江と砂川の農協が合併し、新砂川農協が誕生
		7月	空知中部広域連合が設立 資源ゴミ回収がスタート
		12月	町長選挙を執行。北良治氏が当選就任（無投票4期目）
平成11	【1999】	4月	議会議員選挙を執行
		11月	高齢者生活福祉センターが完成
平成12	【2000】	9月	開町110年式典を挙行
		10月	国勢調査を実施（人口7,309人）
		11月	広域介護予防支援センターが完成 奈井江中学校統合30周年記念式典を開催
平成13	【2001】	4月	KID's Netないえが結成
		5月	コンチェルトパーク駅前広場が完成 ないえ温泉日帰り入館200万人を達成
		6月	地域子育て支援センターを設置 にわ山森林自然公園オープン
		7月	情報誌「どうなる？どうする？市町村合併」No.1を発行（平成15年度までNo.8発行） 奈井江町子どもの権利検討会議を開催 第1回ないえふれあいまつりを開催
		9月	寿公園芝サッカーコート場がオープン 台風15号の影響により大雨の被害（被害総額320万円）
		10月	討論21「広域連携と合併問題を考える」を開催 防災総合訓練（砂川消防署奈井江支署、奈井江消防団と共同実施）を実施 「広域連携と合併問題を考える」パネル討論会を開催 奈井江商業高校創立50周年 交通事故死「ゼロ」連続700日達成 町民大会を開催
		11月	森林組合設立50周年祝賀会を開催 米穀乾燥調製貯蔵施設（ライスターミナル）完成
		12月	日研ツール(株)が進出表明 農民協議会創立50周年記念式典
平成14	【2002】	2月	フィンランド看護学生2名が研修のため来町（84日間）
		3月	空知団地活性化講演会を開催（有森 裕子さん講演） 江南小学校「全国バケツ稲づくりコンテスト」金賞を受賞
		4月	空知中部広域連合 権限移譲事務の引継ぎ なえっこ（放課後児童クラブ）の開設 子どもの権利に関する条例を施行 障害者自立プラン策定委員会を開催 奈井江大橋の開通式
		5月	日研ツール(株)が操業開始 第1回子どもの権利推進委員会を開催
		6月	消防組合設立30周年記念 組合連合消防演習を実施（砂川市） 町民プール「なえっこ」オープン
		7月	市町村合併問題に関する町内団体懇談会（女性団体） 第1回 市町村合併問題に関する町民懇話会を開催（平成14年度5回、平成15年度3回） 第1回 子ども会議（テーマ：市町村合併問題問題に関して）
		8月	町長と語る会（テーマ：市町村合併問題に関して）（奈井江小学校・江南小学校）
		9月	市町村合併問題に関する町内団体懇談会（消防団・障害者団） 町長と語る会（テーマ：市町村合併問題に関して）（奈井江中学校） 米穀乾燥調製貯蔵施設が稼働開始
		10月	市町村合併問題に関する町内団体懇談会（農業団体・老人クラブ・商工会） 人権の集い（落合恵子さん講演）
		11月	市町村合併問題住民意向調査（アンケート）の実施 町長と語る会（テーマ：市町村合併問題に関して）（奈井江商業高校）
		12月	町長選挙を執行。北良治氏が当選就任（5期目）
平成15	【2003】	3月	町議会議員定数の減員を決議（定数13名から10名に）
		8月	町長と語る会（テーマ：市町村合併問題に関して）（江南小学校） 市町村合併問題に関する町民説明会（連合区11地区）～9月迄



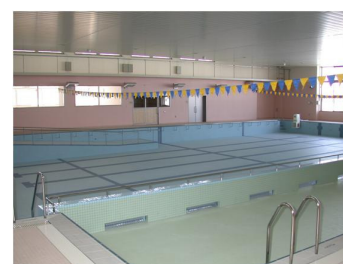
空知中部広域連合設立
(1998年7月)



ライスターミナルが供用開始
(2001年)



にわ山森林自然公園オープン
(2001年6月9日)



町民プール「なえっこ」が供用開始
(2002年6月15日)



奈井江大橋 (2002年4月)

奈井江町の年表

年号	西暦	月	できごと		
平成15	【2003】	8月	コンチェルトホールを楽しむ会 創立10周年記念コンサート 市町村合併問題に関する町民説明会（各連合区・団体・学校等）		
		9月	奈井江町合併問題に関する住民投票条例を施行 市町村合併問題団体説明会（まちづくり研究会・商工会・老人クラブ・農業団体） 町長と語る会（テーマ：市町村合併問題に関して）（奈井江小学校） 情報誌「どうなる？どうする？奈井江の財政」発行		
		10月	市町村合併問題 団体説明会（地区連合・企業・子育て女性・障害者団体ほか） 町長と語る会（テーマ：市町村合併問題に関して）（奈井江中学校・奈井江商業高校） 町女性団体連絡協議会 創立50周年記念式典 住民投票・子ども投票告知 子ども投票説明会（奈井江小・江南小・奈井江中・奈井江商高） 住民投票（投票率73.01% 合併する26.39% 合併しない73.61%） 子ども投票（小学校5年生～高校生が対象） （投票率87.21% 合併する15.81% 合併しない84.19%）		
		平成16	【2004】	1月	奈井江商業高校の存続を考える町民集会
		6月		開町60年記念 国際交流10周年記念シンポジウム 開町60年記念 国際交流10周年記念記念植樹	
		8月		レクリエーション連盟 創立20周年記念交流会	
		9月		台風18号により被害発生（軽傷3名、被害総額 2億4,239万） 奈井江商業高校野球部 36年ぶりの北空知支部代表に	
		10月		身体障害者福祉協会 創立50周年記念式典	
		11月		ないえメロン生産組合 創立20周年記念式典	
		平成17		【2005】	3月
8月	「やすらぎの家」に「あそびのフロアー」を開設				
10月	国勢調査を実施（6,836人） 奈井江町立国保病院、砂川市立病院と医療連携協定を調印				
平成18	【2006】	11月		江南小学校 開校30周年式典	
2月		空知中部連合自治研究会 検討結果を公表 北町連合区 自主防災組織を立ち上げ			
3月		「奈井江すこやかプラン21」（健康作り計画）を策定			
4月		町営バス「向ヶ丘線」の運行を開始 中空知広域水道企業団へ加入（水道事業を企業団へ統合） 「なえっ子見守り隊」が活動を開始 健康づくりセミナー「生老病死を考える」方波見康雄氏			
5月		町立国保病院に「禁煙外来」を開設 新嘗祭に献上する献穀米の「御田植祭」を行う （川筋宏良氏の圃場）			
7月		まちづくり町民委員会に「子育て複合施設検討部会」を設置			
9月		新嘗祭に献上する献穀米の「抜穂祭」を行う （川筋宏良氏の圃場） ツール・ド・北海道 国際大会 奈井江町を通過 図書館の貸出にコンピュータシステムを導入			
10月		岸本内科・消化器科クリニックが開業 町体育協会創立50周年記念式典 奈井江小学校創立110周年記念式典			
11月		文化連盟創立40周年記念式典			
12月		町長選挙を執行。北良治氏が無投票当選（6期目）			
平成19	【2007】	2月	岡山県高梁市と、友好都市提携を締結		
		4月	日研ツール 北海道製作所新工場の開所式 町議会議員定数の減員を決議（13名を10名に）		
		5月	名誉町民 北修二氏 町葬（告別式）		
		6月	町立国保病院で小児科外来を開設		
		9月	第1回かかしコンテスト（茶志内地区）		
		10月	高橋はるみ知事「まちかど対話」で来町。保健センターなどを視察。 砂川地区広域消防組合奈井江支署と浦臼支署の仮統合を調印		
		11月	更生保護女性会 創立30周年記念式典（文化ホール）		



合併問題に関する住民投票
(2003年10月26日)



情報誌「どうなる？どうする？
市町村合併」(2003年9月)



国際交流10周年シンポジウム
(2004年6月)



身体障害者福祉協会(2004年10月)



医療連携協定調印式
砂川市立病院 奈井江町立国民健康保険病院
(2005年10月)

奈井江町の年表

年号	西暦	月	できごと		
平成20	【2008】	1月	奈井江町まちづくり町民委員会に「子育て対策検討部会」を設置		
		3月	14号東通（道道東奈井江奈井江停車場線）アンダーパス開通式		
		4月	中空知広域水道企業団による水道事業供用開始 ないえ温泉民営化		
			奈井江消防支署・浦臼消防支署仮統合		
		7月	奈井江町農産物加工実習室が役場裏に移転、新たにオープン 奈井江町まちづくり定住促進対策事業スタート		
		9月	災害対応型自動販売機、役場ロビーに設置 北電奈井江発電所40周年記念「発電所見学会」を実施		
		11月	災害対応型自動販売機、道の駅に設置 郵便局会社奈井江新局舎が本町5区にオープン		
		平成21	【2009】	2月	子育て複合支援施設「はぐぐみ」開所式（3/1から供用開始）
		3月	町道13号西線・西5条通交差点に信号機設置		
		7月	日本ヘルスサポート学会より学会賞受賞（保健・医療・福祉の一体的取組に対して） 太田精器 中小企業庁「元気モノ作り中小企業300社」に選定される（プレス空知報道）		
		9月	公営住宅暴力団排除協定（奈井江町・上砂川町・砂川警察署）		
10月	高規格救急車の入庫式				
12月	奈井江商業高校 町内企業HPアップロード作業				
平成22	【2010】	3月	名誉町民 萬敏夫 氏 町葬		
		5月	札幌奈井江会20周年記念式典（札幌）		
		9月	開町120年記念式典 砂川市立病院と医療連携協定を締結 WR Cラリージャパン 町内林道で競技		
		10月	国勢調査を実施（人口6,194人） 消防支署の消防団に新消防車が入庫		
		11月	住電30周年記念式典 町長選挙を執行。北良治 氏が当選就任（7期目）		
		平成23	【2011】	2月	米穀貯蔵用利雪低温倉庫（雪米の蔵）完成
4月	議会議員選挙（史上初の無投票）				
5月	全町一斉クリーン作戦（町長と語る会での、子どもの提案から実現）				
6月	高齢者支援ネットワーク懇話会設置（第1回懇話会）				
7月	旅券（パスポート）事務を北海道から移譲、砂川市へ委託 商工会ふるさとライフ委員会 米粉カレーパン発売 フレッツ光サービス開始				
8月	宮城県岩沼市へ町職員を派遣（8/2～9/9、10/2～12/28、延べ17名）				
9月	奈井江学園「第8回北海道しいたけ品評会」で最優秀賞・日本特用林産振興会長賞				
10月	奈井江商業高校60周年記念式典				
11月	浦臼町内で交通事故にあった飼い主を救出した愛犬ジュニアに表彰状				
12月	東町簡易郵便局、移転してリニューアルオープン				
平成24	【2012】	3月	日研ツール(株) 新工場が開所		
		4月	「ミシュランガイド北海道2010特別版」発刊 からまつ園と新しいえ温泉を掲載		
		6月	交通事故死「ゼロ」連続日数1000日を達成		
		8月	奈井江町地域公共交通会議で町公共交通の再編に着手		
		9月	道教委が2013～15年度の公立高校配置計画を発表。奈井江商業2015年度より1間口減（商業科）		
		10月	広報「ないえ」10月号よりカラー化 中空知5市5町、戸籍の共同処理を調印 江南小「子ども議会」（閉校後の校舎利用について提言） 小学校お楽しみ集会（奈井江・江南両小の全学年による交流）		
		12月	奈井江小学校閉校式典		
		平成25	【2013】	1月	奈井江小学校閉校式典
		2月	砂川署と暴力団排除協定を締結		
		3月	江南小学校閉校式典		



「はぐぐみ」開所式
(2009年2月28日)



開町120年記念式典(2010年9月)



全町一斉クリーン作戦
(2011年5月6日)



奈井江小学校閉校式典(2013年1月)



江南小学校閉校式典(2013年3月)